『小さな保育園応援プログラム』が誕生しました。

乳幼児教育保育アドバイザーを活用してみませんか！

～乳幼児教育保育アドバイザーが保育力向上のお手伝いをします～

広島市乳幼児教育保育支援センター（以下、「センター」といいます。）では、幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るため、専門的な知見や豊富な経験等を持った乳幼児教育保育アドバイザー（以下、「アドバイザー」といいます。）を園等に派遣し、保育者の育成を支援しています。

『小さな保育園応援プログラム』とは

「どんな遊びがあるのかな？」、「こんな時にはどう対応するといいの？」、「この方法でいいのかな？」など、保育者の皆さんの、日々の保育における小さな疑問や悩みについて、その解決策をアドバイザーが一緒に考えます。園等に寄り添いながら、施設内での研修等を応援させていただくものです。

具体的には、アドバイザーが園等を訪問し、保育に参加させてもらいながら相談に応じたり、子どもへの接し方や遊びの紹介などを行ったりしながら、保育者の皆さんの保育力アップをお手伝いさせていただきます。

このプログラムで対象としている『小さな保育園』とは、子どもや保育者が少人数の施設や、０～２歳児の小さな子どもの保育を行っている施設です。

アドバイザーの派遣にかかる費用（謝礼・交通費）は広島市が負担します。普段通りの保育の場を訪問しますので、特別な準備も必要ありません。

なお、本市のアドバイザーは、大学の教員、元保育園長、元幼稚園長、元小学校長、公認心理師、防災士、元警察官、看護師等から構成されており、それぞれの立場から園等の実態に応じたアドバイスや支援を行います。（詳しくは別添の「広島市乳幼児教育保育アドバイザーのご紹介」を御覧ください。広島市ホームページにも掲載しています。）

【問合せ先】広島市乳幼児教育保育支援センター（広島市教育委員会教育企画課）
〒730-8586　広島市中区国泰寺町一丁目４番21号
電話番号　：（０８２）５０４―２８３３
Ｆax番号：（０８２）５０４―２５０９
Ｅ-ｍａｉｌ　：　nyuyouji@city.hiroshima.lg.jp

乳幼児教育保育アドバイザーによる支援ってどんなこと？

小さな保育園からの依頼でアドバイザーが訪問し、支援した事例を紹介します。

その１

―依頼の内容―

室内の環境づくりや１～２歳児の遊び、保育の進め方について助言をお願いします。園児が５人の小さな園で、研修に参加できないので相談に乗ってほしいです。園に来ていただけますか？　〈園児５名（1～2 歳）事業所内保育施設〉

センターでは園等の規模、公立・私立、園の種別に関わらずアドバイザーの派遣を行いま

アドバイザーの支援の記録

日頃の保育の様子を見せていただき、子どもたちが私に慣れてくれた頃から保育に参加して、ふれあい遊びを実践しました。その後、子どもたちの遊びの様子を見ながら、先生と一緒に“遊具のコーナーづくり”を行いました。

また、日頃の保育の悩みを聞き、改善策を一緒に考えました。生活面では子どもが過ごしやすい環境に整える具体策を提案し、遊びの面では「0～2 歳児においてはふれあい遊びを通してしっかりコミュニケーションをとりましょう。この時期は人が大好き！になる関係を作っていく事が大切だね。」と話しました。

訪問を受けた園の先生の感想

手遊びやふれあい遊び、集団遊びを子どもたちと一緒に遊びながら教わりました。『むっくりくまさん』は今の子どもたちにピッタリだったようで大喜びでした。今後も続けて楽しんでいきます。また、教えてもらった段ボールを使った『かくれんぼ』など、室内でもできる体を動かす遊びを取り入れていこうと思います。

遊びのコーナーづくりやトイレの環境の整え方など具体的に教えてもらいとても勉強になりました。

日頃から感じていた疑問や悩みに対しても、長年の経験からの助言をもらい、参考になりました。

普段は園を空けることができず、外部の研修に行けないので園に来てもらえてとても助かりました。職場の同僚と一緒に話が聞けたことも嬉しいことでした。また遊びを教えに来てほしいです。

その２

―依頼の内容―

開設して２年目の園です。保育のことや安全対策について、自信が持てないことがあります。実際の保育現場を見て、助言をしてください。

〈園児 10 名（0 歳～2 歳）企業主導型保育施設〉

アドバイザーの支援の記録

８月と１２月の２回訪問しました。初回は主に園内を見せていただきながら、施設の安全確認を行いました。

先生方とも顔見知りになれたので、２回目の訪問は、午前中の保育を見せていただいた後、お昼寝中のミーティングに参加し、今日の保育の感想や子どもについてのお話を聞かせていただきました。

保護者への対応について相談がありましたので、「その保護者の背景にあるものを理解し、まずは保護者の話を受け止めることから始めてみましょう。それが信頼関係作りに繋がり、やがては保護者の気持ちが和らいでいくと思いますよ。」と伝えました。継続して訪問することでじっくり話せることが増えました。

訪問を受けた園の先生の感想

１回目は主に施設の安全面を見ていただきました。アドバイザーの具体的な助言は、すぐに実行できる内容でしたので、早速安全対策を行いました。

２回目はアドバイザーに午前中保育を見ていただき、午睡中のミーティングに一緒に参加してもらいました。話しやすい雰囲気を作ってくださり、職員がそれぞれ保育についての思いを伝え合うことができました。外部の人がミーティングに参加される効果は大きいなと感じました。

また、アドバイザーに保育を見ていただくことで気が付く改善点も多く、保育者も受け入れやすいようです。「よい対応だね。」とか「頑張っているね。」と認められると私たちの自信や意欲に繋がりました。

同じアドバイザーに継続して来ていただくことで、話しやすくなりよかったと感じました。

その３

―依頼の内容―
最近、１歳児の子どもが友だちを噛んでしまうことが続いています。どのように関わればよいか対応に困っています。　〈園児 11 名（0～6 歳）事業所内保育施設〉

アドバイザーの支援の記録

いつも通りに過ごしている子どもの様子を見ながら、先生と話をしました。保育する部屋に遊ぶスペースが十分あっても、遊びの数が限られていては子どもが密集します。一人一人がじっくり遊べなくなり、かみつきなどのトラブルが発生しやすくなります。

年齢や発達に合ったおもちゃを複数用意することや、子どもが選んで遊べる環境づくりについて、すぐに実践できることを具体的に伝えました。「“遊びをかえると、子どもがかわる”と言われているよ。また、そこに関わる保育者は、人的環境として子どもの成長発達の大事な要素だね。」と話しました。

訪問を受けた園の先生の感想

環境、遊びの内容、職員の動き方など例を挙げて具体的に指導していただきました。園内だけで解決することが難しかった問題ですが、アドバイザーの豊富な経験からの助言はすぐに実践できる内容で大変勉強になりました。

その時に教えていただいた０歳児の手作りおもちゃも徐々に増やしていきたいと思っています。

他にもこんな声が届いています。

アドバイザーからは…

- 先生が少人数なので、園外の研修会に参加するのが難しそうでした。アドバイザーが経験を生かしてできることはないかしら。
- 多くの小さな園が預かっている０～２歳の時期は、大人との愛着関係や基本的信頼感が培われ、人と関わる力や生活習慣を獲得する大切な時期です。それだけに保育の悩みも多い時。一緒に保育について話をしていきたいな。
- １回の訪問では、気が付いたことを伝えきれません。複数回訪問できれば見通しを持って助言ができると思います。
- もっと色々な遊びを紹介したいな。

園からは…

- 悩みをじっくり聞いてもらうことができて、保育に意欲を持つことができました。また新たな悩みが出てくると思うので継続して来てほしいです。
- 子どもに合った遊びを実践して見せてもらいました。遊びだけでなく話しかけ方や、誘い方などもとても参考になりました。もっと遊びを教えてください。
- 子どもや保育者の成長を見てほしいので、同じアドバイザーに継続して来てもらいたいです。
- 教えてもらった手作りおもちゃを早速作ると、子どもたちがとても喜んで遊びました。もっと教えてほしいと思います。

保育者の研修や日々の実践への支援を

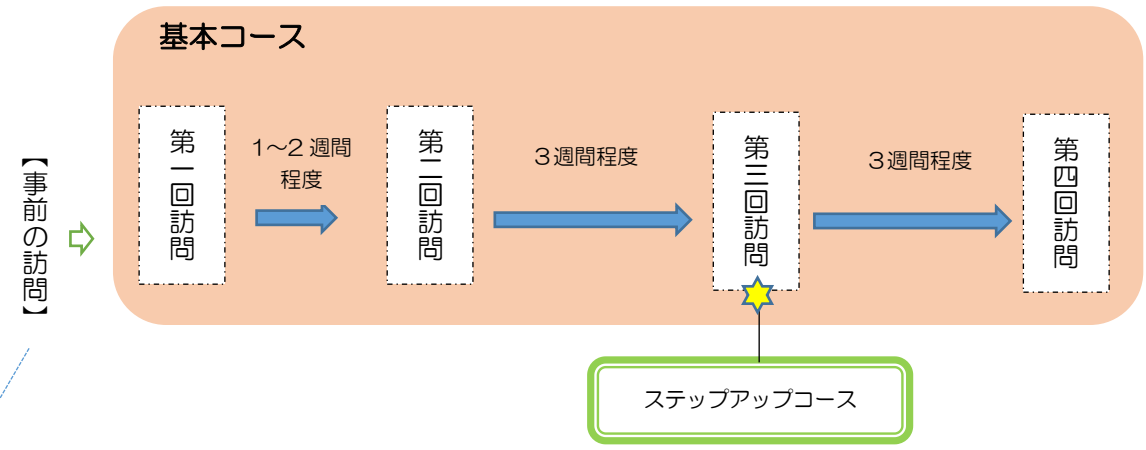
- 簡単な手続きで
- 園内で無理なく
- 継続的に

『小さな保育園応援プログラム』

『小さな保育園応援プログラム』の申込方法

『小さな保育園応援プログラム』では、
１回の申し込みで継続した支援を受けることが可能です。

訪問回数は４回、期間は３か月程度を基本とします。
訪問の回数や間隔、ステップアップコースの要・不要については相談の上、決定します。



＊センターに申込みや問合せをいただいたら、センターのスタッフが事前に園等を訪問します。
プログラムの詳細を説明した上で、進め方や日程の調整をさせていただきます。

基本コース

【日々の遊び・関わり方・環境づくり等の相談に応じます。】

担当のアドバイザーが継続して訪問し、一緒に保育に参加しながら、よいところや改善点を見つけていきます。日々の保育の悩みや疑問を実践の中で一緒に考えていき、保育力アップを目指しましょう。

〈例〉・手遊び　・ふれあい遊び　・年齢に応じた遊び　・手作りおもちゃ
・子どもへの関わり方　・子どもの育ちについて　・絵本の選び方
・遊びのスペースの工夫　・小食や偏食への対応　・離乳食の進め方
・排泄や着脱の援助方法　・保護者対応…など

ステップアップコース

【具体的に学び、ステップアップを図りましょう。】

基本コースに加えて、必要に応じて３回目には、健康や安全についての専門のアドバイザーが訪問して助言を行います。０～２歳児の保育現場に直結する、日々の実践に欠かせない内容です。

〈例〉・乳幼児の予期せぬ突然死対策（食事中、睡眠中など）　・感染症予防
・事故防止　・けがや体調不良の時の対応　・日々の衛生管理…など

『小さな保育園応援プログラム』の
申込み・問合せ・相談等、まずはお気軽に御連絡ください！

広島市乳幼児教育保育支援センター
電話番号　：（０８２）５０４―２８３３
Ｆａｘ番号：（０８２）５０４―２５０９
Ｅ-ｍａｉｌ　：　nyuyouji@city.hiroshima.lg.jp